

大きな地球のために、
わたしひとりに
なにができるのかな。

環境活動ってなに？
地球にやさしいってどういうこと？
電気をマメに消したり、マイバッグは
使ったりしているけれど、
それがどれだけ環境のためになっているんだろう。
そもそも地球のことなんて大きすぎて、
私には、なにを始めればいいのか分からなかった。
そこで私たちは、ルミネに入っている
フレッシュなコスメを作っているお取引先の
製造工場と原材料の提供農家を見に行った。
環境活動を、他人ごとではなく、
自分ごととして受けとめるために。
ルミネの環境活動の明日を
みんなで考えるために。

環境のために、ルミネにできることは何か。

ルミネでは、環境のために何ができるかをみんなで考え、実行していくために、「choroko」プロジェクトを立ち上げました。月1回会議を開き、環境のことを学んだり、フィールドに出て活動したりしています。「choroko(チョコロコ)」とは、スワヒリ語で「緑豆」のこと。ルミネの環境活動が着実に芽吹き、すくすく育つようにとの思いが込められています。この会議から出てきたのが、「環境活動をより“自分ごと”として捉えたい」という声。そこで今回は、身近にあるルミネに入っているお取引先企業のひとつにおじゃまして、環境への取り組みを見学させていただきました。

お取引先の環境活動から学んだこと。

今年2月、神奈川県にあるお取引先(LUSH)の製造工場と原材料の提供農家を見に行きました。ここでは“日々肌に触れるコスメは食べ物と同じ”と考え、化粧品原材料に新鮮な野菜や果物を使っています。その中で、地産地消を目指して輸送の無駄を省く、できる限り安全な有機栽培のものを使う、容器を簡素にしてゴミを減らす、廃棄物を99%リサイクルするなどの取り組みを行っています。本業を通しての環境への配慮と、社員の意識の高さ、楽しそうに取り組む姿勢に、私たちは心から感動しました。ルミネとして見習うべきところが多く、環境活動に生かせるヒントもたくさんいただきました。

ルミネは環境活動の輪を広げていきます。

お取引先の取り組みを見た後は、一緒に環境活動について話し合いました。たとえば、「ルミネの屋上で化粧品の原材料を育てる畑はできないか」「他のショップさんとも一緒にやってみよう」など、さまざまな意見が出ました。今回分かったのは、個人や一企業の取り組みには限界があるけれど、みんなで力を合わせれば大きなことができるということ。お取引先や来店されるお客様とともに、楽しくできる環境活動を目指していきます。その第一歩として、4月20日(土)・21日(日)に開かれる「アースデイ東京2013」に参加します。これからもできることからひとつずつ、ルミネらしい環境活動に取り組んでいきます。